

県政協議会

平成二十九年四月二十四日(月)

午前十時

- 一、 県人口の動向等について
- 二、 県・市連携文化施設について
- 三、 県内の暴風及び土砂崩れの状況について
- 四、 県内の経済雇用情勢について
- 五、 その他

県人口の動向等について

平成29年4月24日
あきた未来創造部

1. 平成29年4月1日の県人口

平成29年4月1日現在の県人口 999,636人

平成29年3月一カ月間（H29.3.1～3.31）の増減			
4,674人の減少（自然減 925人 社会減 3,749人）			
過去1年間（H28.4.1～H29.3.31）の増減			
14,085人の減少（自然減 9,842人 社会減 4,243人）			
<参考>			
①100万人突破	昭和6年（1931年）10月1日	1,004,600人	
②県人口のピーク	昭和31年（1956年）10月1日	1,349,936人	

本県では、長期間にわたり若年層の県外流出が続き、その結果形成された人口構造により人口減少が続いている。

こうした状況の改善を目指し、社会減の抑制に向けた施策など人口減少対策に、市町村、県民とともに県を挙げて積極果敢に取り組んでいく。

2. 主な人口減少対策

- ア 産業振興による仕事づくり
航空機、自動車、新エネルギー産業等の振興による地域産業の競争力強化
園芸メガ団地の整備等による米依存農業からの脱却
観光・文化・スポーツの振興による交流人口の拡大
- イ 移住・定住対策
市町村と連携した移住者サポートの充実
大卒・高卒者の県内定着の促進
- ウ 少子化対策
すこやか子育て支援事業など子育て支援施策の更なる充実
仕事と子育てを両立できる環境づくり
- エ 新たな地域社会の形成
住民サービス水準の維持に向けた行政運営のあり方の検討

県・市連携文化施設について

平成29年4月24日
観光文化スポーツ部

1 基本設計事業者の選定について

(1) 基本設計委託予定事業者

佐藤総合計画・小畑設計共同企業体 代表企業(株)佐藤総合計画 東北事務所

(2) 選定の経緯

平成29年1月13日 第1回設計者選定委員会(参加資格、評価基準等の決定)
1月31日 設計者選定プロポーザルの公募開始
2月20日 参加資格確認申請書提出期限(9者が応募)
3月31日 技術提案書提出期限(上記9者が提出)
4月9日 第2回設計者選定委員会(一次審査、5者に絞り込み)
4月22日 公開プレゼンテーション、第3回設計者選定委員会
(最終審査、最優秀提案者の選定)

(3) 技術提案書の概要

別添のとおり

2 和洋高校建物移転補償事前調査結果について

(1) 移転候補地

移転後において従前の価値および機能が失われないことを前提に、以下の理由から、和洋高校多目的グラウンド(3,948㎡)を移転候補地として選定する。

- ・現校舎に近く、隣接には体育館等もあり、移転により一体的・効率的な運営が進む。
- ・和洋高校所有地であり、取得費がかからず経済性が高い。
- ・高校の建築に対する用途制限のない地域である。

(2) 移転後の学校施設の想定規模

過去10年間の和洋高校在校者数の推移から生徒数を600人程度と仮定し、高等学校設置基準第13条(校舎の面積)により移転後の校舎面積を試算すると、4,000㎡程度が必要最低限の延床面積と推測される。これをベースに和洋高校の意向、補償費等を踏まえ、最終的な校舎規模を決めることになる。(現在の本校舎の延床面積 6,155㎡)

(3) 移転スケジュール

平成29年度 県・市による建物移転補償調査 移転補償契約締結
和洋高校による新校舎整備計画・基本設計等準備
(以下、全て和洋高校が実施)
平成30年度 基本設計・実施設計
建設業者選定、新校舎建設工事着手
平成31年度 新校舎建設工事 引っ越し
平成32年度 移転後新校舎使用開始(4月)
現校舎解体

城址の森に呼応する -歴史的景観に溶け込み、まち・森・人と奏でるホール-

計画地は、旧久保田城の外堀に面し、美しい水辺の景観と共に、長い歴史を見守ってきた土塁や高齡樹に囲われた場所です。
私たちはこれらの遺構を活かして、この景観をさらに魅力的にすると共に、賑わいあふれる芸術文化の拠点をつくります。
そして、この賑わいを外部に発信することで街と呼応し、文化の力で地域に活力を与える魅力あふれる県・市連携文化施設を提案します。



県内の暴風及び土砂崩れの状況について

平成29年4月24日
総合防災課

1 平成29年4月17日からの暴風の状況について

(1) 概要

平成29年4月17日、発達した低気圧が日本海部を北東に進み、北日本を通過。

秋田県では、沿岸部を中心に17日昼過ぎから風が強まり、19日にかけて暴風状態となり、県内全域で人的被害（軽傷4人）、建物被害（公共施設や住家・非住家等一部破損181棟）、パイプハウスの損壊等の農林被害が発生したものの。

(2) 気象状況

ア 県内の最大風速及び最大瞬間風速概要

	数 値	観測日時	風 向	観測地
最大風速	19.7メートル	4月19日 12時15分	南 西	にかほ
最大瞬間風速	34.2メートル	4月18日 3時58分	東南東	八 森

イ 警報発表状況

種 別	発表日時	解除日時	状況	対象地域
暴 風 警 報	4月17日 15時31分	4月18日 16時23分	解 除 済	能代市、三種町、八峰町、秋田市、男鹿市、潟上市、由利本荘市、にかほ市
	4月18日 4時46分			藤里町、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
	4月19日 4時31分 (再度発表)	4月19日 20時14分	解 除 済	能代市、三種町、八峰町、藤里町、秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、由利本荘市、にかほ市

(3) 人的被害（4月23日12時現在）

	市 町 村 名	被害の内訳	負傷の程度
1	井 川 町	風にあおられ転倒(女性65歳)	軽 傷
2	上小阿仁村	コンテナ扉が風によりしまり受傷(男性56歳)	軽 傷
3	秋 田 市	風にあおられ転倒(女性64歳)	軽 傷
4	由利本荘市	風にあおられ転倒(男性90歳)	軽 傷

軽傷4人

(4) 建物被害等 (4月23日12時現在)

住家 一部破損58棟、非住家 全壊3棟 半壊2棟
一部破損112棟、公共施設 一部破損6箇所

計 181(棟・箇所)

ア 市町村別

市町村名	住家被害(棟)					非住家被害(棟)				公共施設 (箇所)
	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊	一部破損	浸水	
小坂町								1		
能代市			1							
八峰町			3					5		1
秋田市			4					11		
男鹿市			8			2		9		
潟上市			8					3		
五城目町			1					1		
八郎潟町								2		
井川町			4				1	9		
由利本荘市			1					6		3
にかほ市			1				1			
大仙市			5					18		
仙北市			1					1		
美郷町			18			1		44		
横手市			3					2		2
合計			58			3	2	112		6

イ 主な被害状況

- ・小友地区健康増進センターの外壁の破損 (由利本荘市)
- ・本荘第二体育館の外壁の破損 (由利本荘市)
- ・大森体育館の屋根の剥離及び飛散 (横手市)
- ・その他、住家・非住家の被害は、屋根のトタンや外壁の破損等

(5) 警戒体制

	体 制	設置日時
美郷町	美郷町災害対策警戒部(部長:総務課長)	4月18日 8:00設置 4月18日 14:00廃止

(6) 農林水産関係 (4月23日12時現在)

ア 被害額 108,140千円

- ・農作物等 346千円
- ・栽培施設等 107,794千円

イ 栽培施設等被害状況

区分	被害程度	棟数	地区別棟数
パイプハウス	全壊	91	鹿角: 1棟 山本: 15棟
	半壊	69	秋田: 293棟 由利: 137棟
	ビニール破損	562	仙北: 257棟 平鹿: 4棟
	小計	722	雄勝: 15棟
その他(農作業小屋等)		17	山本:1棟、秋田:5棟、由利:5棟、仙北:6棟
計		739	

- ・全壊、半壊したパイプハウス160棟のうち水稻育苗ハウスは148棟、園芸用ハウスは12棟
- ・その他、漁船の損壊1隻等

2 由利本荘市鳥海町における土砂崩れの発生について

(1) 概要

平成29年4月19日午後6時10分頃、由利本荘市鳥海町の旧笹子小学校グラウンドの盛土部分が崩れ、北面に向かい土砂崩れが発生。

ア 場所

由利本荘市鳥海町下笹子字中台43番地の民家裏の斜面（盛土部分）。土砂崩れの規模は幅60m×高さ35m。

イ 被害

人的被害 無し

物的被害 家まで土砂が動き、民家が押されて窓ガラスが破損
(道路閉鎖は無し)

(2) 避難勧告発令等の状況

ア 避難勧告等

- ・由利本荘市では19日午後7時に周辺44世帯に対し避難勧告を発令、うち9世帯は避難指示に切り替え。避難所として笹子公民館を指定。
- ・午後7時30分に市災害対策室（室長：副市長）を設置、以後防災活動継続。
- ・なお、20日午後4時に1世帯を除き避難勧告・避難指示を解除。

イ 住民の避難状況

4月20日午前7時の時点で10世帯31人が避難。うち、17人は避難所に、14人は親戚宅に避難。

※避難所は20日午後4時45分に閉鎖。

【参考】由利本荘市撮影

土砂崩れ災害現場全景
(斜面上部より北向きに撮影)



家屋と土砂の接触部分撮影。
窓ガラスが圧力で破損



県内の経済雇用情勢について

配布資料 4

平成 29 年 4 月 24 日
産 業 労 働 部

1 概況

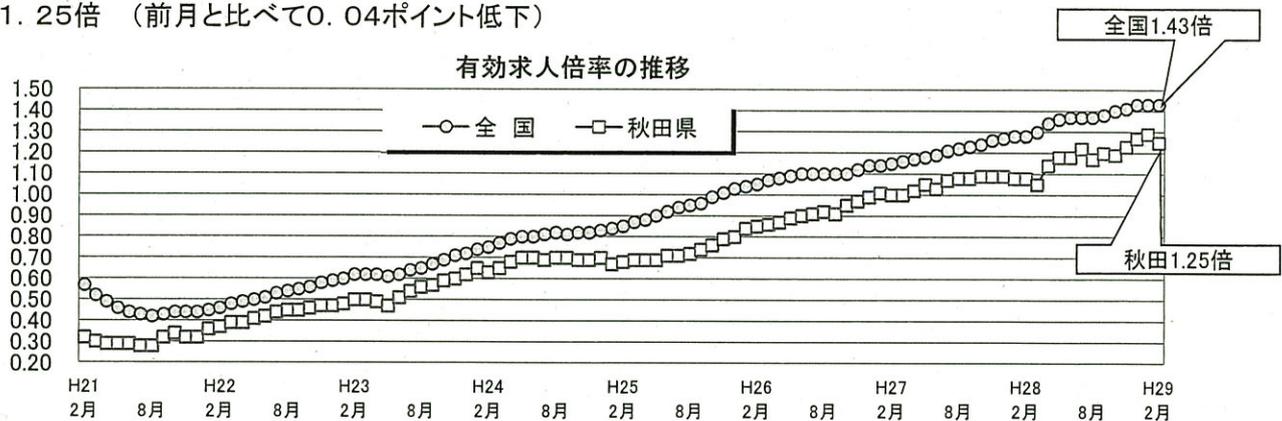
- ・ 県内経済は、個人消費は全体としては横ばいに推移し、製造業はやや強含みの動きとなっている。
- ・ 2月の有効求人倍率は1.25倍(前月と比べて0.04ポイント低下)であり、高水準で推移している。

2 県内経済動向調査結果(平成29年2月分)

- ・ 製造業 木材・木製品等が低調だったものの、輸送機械等が好調で、全体としてはやや強含みの動きとなっている。
- ・ 建設業 公共投資は3か月連続で前年同月を上回った。
- ・ 小売業 昨年に比べ営業日減少の影響がみられるものの、全体としては横ばいの動きとなっている。
- ・ サービス業 総じてやや弱含みの動きとなっている。

3 有効求人倍率(平成29年2月)

1.25倍 (前月と比べて0.04ポイント低下)



4 離職者の状況(平成29年3月)

- ◆ 平成29年3月 : 1社 15人 (前年同期比 ▲4社▲15人 / 前月比 ▲1社、▲4人)
- ※1社10人以上で、労働局、企業訪問等からの情報により把握した離職者数

5 平成29年3月新規高卒者職業紹介状況及び大学等卒業者の就職内定状況(平成29年3月末現在、秋田労働局発表)

項目	高卒者		大学等卒業者【参考】	
	人数、割合	前年同期比	人数、割合	前年同期比
県内求人数	3,816人	+3.6%(132人増)	—	—
県内就職希望者数	1,550人	▲0.3%(5人減)	1,149人	+4.5%(49人増)
県外就職希望者数	797人	+2.8%(22人増)	1,354人	+9.7%(120人増)
県内就職希望率 ※1	66.0%	▲0.7pt	45.9%	▲1.2pt
県内就職内定者数	1,543人	▲0.4%(6人減)	1,131人	+3.5%(38人増)
県外就職内定者数	797人	+2.8%(22人増)	1,334人	+9.0%(110人増)
県内就職内定率	99.5%	▲0.1pt	98.4%	▲1.0pt
県内内定割合 ※2	65.9%	▲0.8pt	45.9%	▲1.3pt

※1 県内就職希望率は、就職希望者のうち県内就職希望者の割合

※2 県内内定割合は、就職内定者のうち県内就職内定者の割合

1 地域ごとの状況

項目 地域	秋田県内の一般職業紹介状況 (H29.2月)※1				(H29.3月)	(H29.3月)	平成29年3月新規高卒者 職業紹介状況(H29.3月末現在)※3			
	有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	有効 求人倍率 (倍)	前年 同月比 (ポイント)	離職者数 (人)※2	倒産件数 (件)	県内就職 希望者数 (人)	県内 求人数 (人)	県内就職 内定者数 (人)	県内就職 内定率 (%)
鹿角	783	626	1.25	▲ 0.08			71 (59)	169 (171)	71 (59)	100.0 (100.0)
北秋田	2,468	1,694	1.46	0.21		1	205 (184)	539 (506)	205 (184)	100.0 (100.0)
山本	1,997	1,273	1.57	0.43		1	133 (124)	300 (302)	133 (124)	100.0 (100.0)
秋田	9,044	7,374	1.23	0.09		3	488 (534)	1,442 (1,344)	486 (530)	99.6 (99.3)
由利	1,756	1,811	0.97	0.06	15		186 (157)	349 (351)	184 (156)	98.9 (99.4)
仙北	3,199	2,453	1.30	0.33			225 (276)	500 (456)	222 (276)	98.7 (100.0)
平鹿	2,144	1,507	1.42	0.21		1	122 (117)	288 (293)	122 (116)	100.0 (99.1)
雄勝	976	999	0.98	0.11			120 (104)	229 (261)	120 (104)	100.0 (100.0)
計	21,420	17,192	1.25	0.16	15	6	1,550 (1,555)	3,816 (3,684)	1,543 (1,549)	99.5 (99.6)

※1 秋田県内の一般職業紹介状況の各計は季節調整値。地域別の値は原数値(全数)

※2 1社10人以上

※3 平成29年3月新規高卒者職業紹介状況の()内は前年度の数値

2 平成29年2月職業別有効求人倍率※4

(倍)

管理	専門 ※5	事務	販売・営業	サービス	保安・警備	農林漁業	生産工程	運転	電気工事者	建設・土木	運搬・清掃・労務
1.61	2.03	0.42	1.91	2.26	4.40	1.20	1.22	1.58	1.64	2.33	0.55

※4 原数値(常用)

※5 専門の内訳は、建築関係技術者(5.42倍)、看護師・保健師等(2.55倍)、社会福祉専門職(1.69倍)、その他の専門職(1.48倍)